

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 天心会	代表者	飯塚 卓	法人・ 事業所 の特徴	「利用者様が住み慣れたご自宅・地域で『その人らしく』生活できるよう寄り添い支援します」を事業所理念とし、利用者様が自分らしく安心して過ごせるよう、また、介護者様の不安や負担を軽減できるようサービスの提供を行います。 また利用者様、家族様の「思い」を大切に受け止め、利用者様が望む生活が送れるよう、利用者、家族との交流を深め、お一人お一人のご意向を大切にしています。 ご家族とともに医療機関や系列の専門職種との連携をしながら、心身の変化に対応すべく情報共有に努めます。
事業所名	ユースフルまつやま	管理者	小椋 宏幸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援C	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	人	3人	人	2人	1人	人	2人	人	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法を次年度、再度職員に十分周知してからおこなう。 ・事業所の評価なのか個人の評価なのかということも、事前に周知する。 		概ねよし	<ul style="list-style-type: none"> ・評価方法について再度職員に十分周知してからおこなう。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議でいただくご意見を参考に、環境整備していく。 ・また同様に地域の方が入りやすい環境について、ご意見をいただいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの影響で施設への訪問が行われていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの為、訪問できず施設内の状況が解らない。 ・玄関のインターホンがどこにあるか分かりづらい。また、インターホンの位置が高いところにある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・インターホンの場所を掲示する。 ・施設たよりを作成して、ご家族や地域の方に施設の活動について知って頂く。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の集まりにお邪魔していく。清掃の場面にもお邪魔する。同じ職員だけでなく複数職員でお邪魔する体制を、法人委員会などで話し合っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年は春の花見、芋煮会、新年会、一斉清掃に参加していたが、新型コロナウイルスの影響で参加ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・例年、地域の行事や清掃活動に参加してもらっていた。 ・施設の様子がわかりづらい。天心会の建物が多く、どのような施設か良く分からない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設たよりを作成して、ご家族や地域の方に施設の活動について知って頂く。また、ホームページの紹介。 ・地域の活動や行事へ参加して、地域の方との交流を図る。 ・介護教室をおこない、介護について知って頂く。

<p>D. 地域に出向いて本人の暮らしをささえる取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議を通して利用者お一人お一人の住む自宅や地域での生活を知る取組を進めるとともに、村松三区の地域に参加していく。運営推進会議の場にて、事業所の対象かどうかに関わらず地域の心配な方のことを話題にやすく、然るべき機関につなげられるような進行に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス担当者会議を通してご利用者様の住む自宅や地域での生活を知ることができた。 ・新型コロナウイルスの影響で参加ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの為、地域への活動に参加ができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染状況をみて行事への参加を行う。 ・まつやま地区だけでなく、ご利用者様が住む地区の民生委員とも連携する。
<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通して、事業所の現状や特長、利用方法などを定期的に知っていただき、利用対象の方をお伝えしていくとともに、利用対象外の方であっても話題にやすく、然るべき機関につなげられるような進行に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染状況で定例の会議を行うことができなかった。 	<p>概ねよし。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議を通して、事業所の活動について知っていただく。 ・地域と連携できる機会であり、地域とのつながりを深めていく。
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の機会を利用して、地域の方と合同の避難訓練について話し合う。 ・次年度計画として、災害想定にてすこやかと合同で地域の方と合同の避難訓練の実施、その中で地域の一人暮らしの高齢者や高齢世帯、その他避難の要配慮者、避難行動要支援者の避難について事業所の活用方法などをご相談の機会をいただく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の機会を利用して、地域の方と合同の避難訓練について話し合うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時や地域の高齢者支援に天心会が協力してくれるのは以前から要望していた。 ・避難方法や災害時の連絡窓口については検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議の機会を利用して、地域の方と防災・災害対策について話し合いを重ねていく。 ・天心会の施設を地域の避難所として活用できるよう、法人内で組織を編成する。